

行事報告

2018年11月10日（土）

平成30年度読書週間講演会「古文書から探る河内の地震」

2018年11月10日（土）に、東京大学地震研究所／地震火山史料連携研究機構准教授・加納靖之氏をお招きして、平成30年度読書週間講演会「古文書から探る河内の地震」を開催しました。最初に、地震のメカニズムと、過去の地震研究の意義と方法について、初歩からわかりやすくご説明いただきました。その後、実際に嘉永（安政）南海地震に関するかわら版を素材に、古記録からいかに地震を読み解くかを、聴講の皆さんにも参加していただきながら、実演していただきました。また八尾市の過去の地震の具体例や、これから予想される災害への心構えなどについても、史料や写真、ハザードマップ等を使って説明していただきました。最後に、加納先生のグループが取り組まれている市民参加型の研究プロジェクト、「みんなで翻刻」についてもご紹介いただきました。

